

■バイパーマリン40の搭載方法(船体への設置について)

できる限り受信機から離れたところに設置してください。ESCを固定する場合はベルクロ(マジックテープ)もしくは両面テープを使って固定してください。バッテリーからの供給電源ケーブルやアンテナ線が干渉しないように配線してください。アンテナ線は受信機からアンテナチューブで船体からまっすぐ出すようにしてください。アンテナ線を船内に適当に放置すると大幅に受信感度が下がり、トラブルの原因となります。ESCのヒートシンクに風が当たるようにできるだけ風通しのとよところに設置するのが理想的です。(過熱によるシャットダウンが起きるリスクを減らすことができます。)モーターには必ずノイズキラー・コンデンサ(0.1μF程度)が2個程度ついているかどうか確認してください。

■ESCの配線方法について

マイクロバイパーには工場出荷時にタムテックススタイルのコネクターが装備されています。バッテリーとモーターへの各配線ケーブルの色と接続先は下図の通りになります。

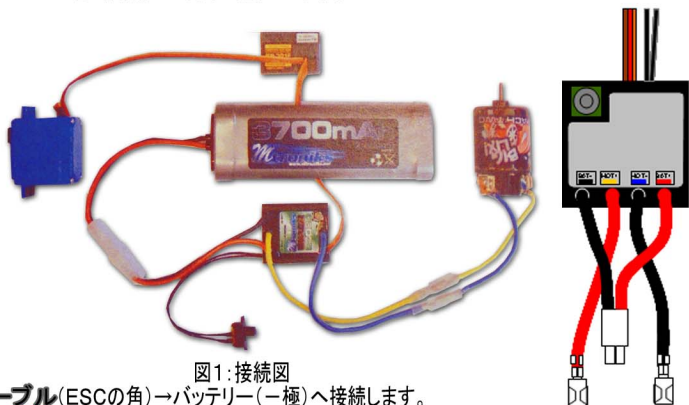


図1: 接続図

- 黒ケーブル(ESCの角)→バッテリー(一極)へ接続します。
- 赤ケーブル(ESCの角)→バッテリー(+極)へ接続します。

※上記のバッテリー入力側の極性は絶対に逆に接続しないでください。スピードコントローラが壊れます。モーターを反転させる必要がある場合はモーター出力側の極性を逆にしてください。

- 青ケーブル(ESCの中央)→モーター(一極)へ接続します。
- 黄ケーブル(ESCの中央)→モーター(+極)へ接続します。

注意事項: ESC使用しないときはバッテリーとESCのコネクターは常に外しておいてください。また本ESCの最大電流は25Aですが、できれば電源部とESCの間に20A程度のヒューズを入れておくと安心です。

■受信機との接続について

バイパーマリン40の受信機に接続するコネクタはJR(日本遠隔制御)社と同じピン配列となっています。その他のメーカーについては表1を参考にして正しく接続してください。

注意事項:

このバイパーマリン40はBEC機能(受信機やサーボに電源を供給する機能)が標準で装備されていますが、別途ユーザーで受信機専用バッテリーを使用したい場合は本バイパーマリン40の受信機用コネクタの赤:VCC(中央のピン)を抜いて使用してください。また受信機専用バッテリーを搭載して2台のバイパーマリン40を同時に使用する場合は2台共に受信機用コネクタの赤:VCC(中央のピン)を抜いて使用してください。また、BEC機能を使用して2台のバイパーマリン40を同時に使用する場合は2台目の受信機用コネクタの赤:VCC(中央のピン)を抜いて使用してください。

受信機メーカー	SIGNAL	VCC	GND
フタバ、サンワ、KO	白	赤	黒
HI-TEC	黄	赤	黒
JR、Graupner	白/オレンジ	赤	黒
ACOMS	黄	赤	黒
AIRTRONICS	白/オレンジ	黒	赤
MTRONIKS	オレンジ	赤	茶

表1:各社受信機メーカーのコネクタ仕様

■バイパーマリン40のセットアップ方法について

セットアップを行う前にもう一度、図1:接続図のように正しく受信機、SCバッテリー、モーターが接続されているか再度確認してください。受信機側のコネクタは正しく接続されているかも確認してください。

キャリブレーション(調整方法)

バイパーマリン40を初めて使用する場合、まず、送信機の指示に正しく応答させるためにキャリブレーションを行います。

- ①送信機のスイッチを入れてスロットルスティックを中立(ニュートラル)にし、スロットル・トリムも中央に合わせます。
- ②バイパーマリン40にバッテリー電源を接続し、バイパーマリン40のスイッチをONにします。(赤と緑のLEDが2秒間点滅します。この2秒間の点滅の間にバイパーマリン40のボタンを押すとセットアップモードに入ります。2秒間点滅中に何もしないと前回設定されたモードで動作します。)

※注意1:もし、工場出荷時のコネクターをユーザーで付け替えた場合は極性が間違っていないか確認してください。

※注意2:もし、LEDが点滅せず、赤LEDのみが点灯する場合は送信機の信号を受信していない可能性があります。送信機がONになっているか、また送信機のバッテリーが十分かどうか確認してください。同様に受信機とのケーブルが抜けかけていないかどうか再度確認してください。

- ③LEDが2秒間点滅している間にセットアップボタンを押してください。これでニュートラルの位置が記憶されます。ニュートラルの位置が記憶されると緑のLEDが点灯します。
- ④スロットルスティックを全速前進に倒してからニュートラルに戻してください。(全速前進スピードポイントが記憶されます。)赤のLEDが点灯します。
- ⑤スロットルスティックを全速後退に倒してからニュートラルに戻してください。(全速後退スピードポイントが記憶されます。)これでキャリブレーションは終了です。

<本製品の免責・注意事項>

- 本製品を安全に使用するのには使用者の責任です。
- 本製品は模型用途以外には使用しないでください。
- 使用者の不注意による事故、損害、損傷、破損について弊社は一切の責任を負いません。予めご了承下さい。